

今後の資源循環施策に関する区市町村と都との共同検討会

今年度（平成 30 年度）の取組状況等

【構成】

■東京 2020 大会を契機に、区市町村と都がこれまで以上に連携して推進を図るべき資源循環施策（5つの検討項目）

- 1 東京 2020 大会を見据えた、
 - (1)リユースカップなどイベントでの持続可能な資源利用のための仕組みづくり・・・2
 - (2)街の美化対策及び公共空間におけるごみ箱の統一ラベルや分別ルールづくり・・・3
- 2 資源を無駄にしない（資源を大切に利用していく）取組
 - (1)事業系廃棄物のリサイクル（3R）ルールづくり・・・・・・・・・・・・・・4
 - (2)更なるリサイクルが可能な資源を廃棄物にしない取組・・・・・・・・・・・・・・5
- 3 食べ物を無駄にしない・処理時の環境負荷を軽減する取組（食品ロス対策等）・・・6
- 4 使い捨て型ライフスタイルの見直し（レジ袋対策等）・・・・・・・・・・・・・・7
- 5 今後、課題認識・問題認識の共有化を図っていく必要がある事項・・・・・・・・・・8

■区部における埋立処分量の更なる削減・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

今後の資源循環施策に関する区市町村と都との共同検討会

平成31（2019）3月

■ 「5つの検討項目」に関する今年度の検討内容・進め方等

1(1) 「リユースカップなどイベントでの持続可能な資源利用のための仕組みづくり」に関して【継続検討事項】

1 今年度の取組（案）

- イベントでの持続可能な資源利用に関するガイドライン（方針）の作成

2 内容・スケジュール（案）

- 8～9月頃：課長級WG（個別WG）で、これまでの取組の共有、ガイドライン（方針）案の検討
- 12月頃：ガイドライン（方針）の策定

今年度の取組状況

- 10月 課長級WG（個別WG）で、これまでの経緯を共有するとともに、都から提示したガイドライン（骨子）案について検討
ガイドライン（骨子）案
①目的・位置付け、②対象となるイベント等、③基本方針、④環境配慮の取組事項（廃棄物の削減、周辺環境への配慮、省資源・省エネルギー・CO2削減等、運営体制その他 ⇒ 再度内容を精査する必要あり
- 1月 課長級WG（第5回）においてガイドライン（素案）について議論
- 3月 検討会（第10回）においてガイドライン（案）を了承

3 その他（来年度（31年度）以降の予定等）

- 本検討事項の検討は、原則として今年度で終了（来年度に継続検討が必要な事項について、当該内容と検討体制を整理）
- 検討終了事項については、各自治体のその後の取組実施に資するよう、取組事例等の情報共有を図る仕組みをつくり（勉強会の場の設定やメーリングリストの作成等）、継続的な情報共有・連携を図っていく、など。

■ 「5つの検討項目」に関する今年度の検討内容・進め方等

1(2) 「街の美化対策及び公共空間におけるごみ箱の統一ラベルや分別ルールづくり」に関して【検討終了事項】

1 平成30年度以降の取組の方向性

- 各自治体で「環境省のガイダンス」及び「1(1)のイベントガイドライン」内容等を参考としていく。
- 勉強会の設定やメール等で、取組事例等に係る継続的な情報共有・連携を図る。

2 内容・スケジュール（案）

- 随時：各自治体において「環境省のガイダンス」等を参考に統一分別ラベルの普及等に取り組む。必要に応じて勉強会の場を設定するなど、継続的な情報共有・連携を図る。

■ 「5つの検討項目」に関する今年度の検討内容・進め方等

2(1) 「事業系廃棄物のリサイクル（3R）ルールづくり」に関して

【継続検討事項】

1 今年度の取組（案）

- 検討の手順・検討の優先順位等の共通認識を図りながら（プラスチック等）、関係業界団体との意見交換等を踏まえたルール素案の検討・作成
- 各区市町村で実施している大規模事業用建築物に係る排出指導等に関して情報共有を行い、相互連携を図る可能性の検討

2 内容・スケジュール（案）

- 9～10月頃：課長級WG（個別WG）で、これまでの取組の共有、ルール素案の検討、必要に応じて関係業界団体と意見交換（東産協、東廃協、東リ協等）

【検討項目】

- ・優先的にリデュースやリサイクルを促す品目
 - ・大規模事業用建築物に係る排出指導等に関する情報共有及び相互連携を図る可能性
 - ・事業系廃棄物の収集運搬に係る課題（制度上の課題を含む。）
 - ・ルール素案の検討 等
- 3月頃までに：課長級WG（個別WG）でルール案の検討

今年度の取組状況

東京都廃棄物審議会プラスチック部会において、プラ対策の観点から、事業系廃棄物の3R 促進の必要性が指摘されているため、同部会の議論を見据えながら、ルール素案を検討していく。

- 3月 課長級WG（個別WG）で、これまでの取組の共有、ルール素案の検討

3 その他（来年度（31年度）の予定等）

- 平成31年度を目途に、ルール案の合意をめざす。

■ 「5つの検討項目」に関する今年度の検討内容・進め方等

2(2) 更なるリサイクルが可能な資源を廃棄物にしない取組」に関して

【検討終了事項】

1 平成30年度以降の取組の方向性

- 「更なるリサイクルが可能で資源を廃棄物にしない取組」の実施状況等に係るアンケート調査の実施と結果の共有
- 勉強会の設定やメール等で、取組事例等に係る継続的な情報共有・連携を図る

2 内容・スケジュール（案）

- 「更なるリサイクルが可能で資源を廃棄物にしない取組」の実施状況に係るアンケート調査を実施
⇒ 7月中
- 勉強会（廃棄物行政講習会）の実施による、アンケート結果の共有及び取組事例等の紹介等
⇒ 9月頃から

今年度の取組状況

- 8月 都内区市町村へアンケート調査を実施
「更なるリサイクルが可能な資源を廃棄物にしない取組」の実施状況等の調査
- 9月 各自治体での取組の参考となる情報の共有
第3回廃棄物行政講習会において、衣服のリユースを進める取組「ふくのわプロジェクト」の取組事例を紹介
- 11月 都内区市町村へアンケート調査結果を共有

■ 「5つの検討項目」に関する今年度の検討内容・進め方等

「3 食べ物を無駄にしない取組等」に関して【検討終了事項】

1 平成30年度以降の取組の方向性

- 「食品ロス対策」に係るアンケート調査の実施と結果の共有
- 勉強会の設定やメール等で、と取組事例等に係る継続的な情報共有・連携を図る。
- 連携した広報の実施や、食品ロス対策に係る環境教育の推進について各主体が教育機関等への働きかけを実施

2 内容・スケジュール（案）

- 7月頃、都内区市町村等へのアンケート調査の実施
- 10月頃：「10/16 世界食料デー」に合わせて、それぞれが有する広報手段等を活用しながら、都民等に対し普及啓発を実施、結果を共有
- 年度末までに、食品ロス対策に係る環境教育の推進に向けた取組状況について情報を共有
- そのほか、適宜、区市町村と都で相互に連携しながら、効果的な普及啓発活動等を実施

今年度の取組状況

- 7月 都内区市町村等へのアンケート調査の実施
- 9月 都内区市町村等へのアンケート調査結果の共有
- 10月 「10/16 世界食料デー」に合わせて、それぞれが有する広報手段等を活用しながら、都民等に対し普及啓発を実施。
- 2月 エコプロ2018（平成30年12月6日～8日開催）への出展や、東京都環境公社による環境学習講座（平成31年1月29日開催）への講師派遣による環境教育の推進に向けた情報共有

■ 「5つの検討項目」に関する今年度の検討内容・進め方等

「4 使い捨て型ライフスタイルの見直し」に関して

【検討終了事項】

1 平成30年度以降の取組の方向性

- 「レジ袋」：レジ袋無償配布ゼロに向けて都が立ち上げた協議会の場で連携して取り組む。
- その他の「使い捨て型ライフスタイルの見直し」に向けた取組：勉強会の設定やメール等で、取組事例等に係る継続的な情報共有・連携を図る

2 内容・スケジュール（案）

- 10月：3R推進月間を中心に、レジ袋削減等の使い捨て型ライフスタイルの見直しにつながる普及啓発を各自治体で実施
- 随時：レジ袋削減に向けた意見交換会、情報共有

■ 「5つの検討項目」に関する今年度の検討内容・進め方等

「5 今後の課題等」に関して【検討終了事項】

1 平成30年度以降の取組の方向性

- 「今後の課題等」に係るアンケート調査の実施と結果の共有
- 勉強会の設定やメール等で、取組事例等に係る継続的な情報共有・連携を図る。

2 内容・スケジュール（案）

- 「今後の課題等」に係るアンケート調査の実施
⇒ 7月中
- 勉強会（廃棄物行政講習会）の実施による、アンケート結果の共有及び取組事例等の紹介等
⇒ 9月頃から

今年度の取組状況

- 6月 各自治体での取組の参考となる情報の共有
第1回廃棄物行政講習会において、昨年度実施した「今後の課題等に関するアンケート調査」結果についての概要を報告・共有
- 8月 都内区市町村へアンケート調査を実施
「今後の課題等」にかかる現状や取組事例等の調査
- 11月 都内区市町村へアンケート調査結果を共有

■「区部における埋立処分量の更なる削減」に関する

今年度の検討内容・進め方等

1 平成30年度以降の取組の方向性

【継続検討事項】

- 一般廃棄物の廃プラ類の埋立終了
「2020年以前の出来るだけ早い時期に、一般廃棄物の廃プラ類の埋立を終了する方向」に向けて、引き続き、「事業系廃棄物のリサイクル（3R）ルールづくりで検討。【検討終期】平成31（2019）年度（事業系廃棄物の3Rルール合意と同時期）」

【検討終了事項】

- 廃蛍光管等の埋立ての終了
「廃蛍光管等の埋立ては2019年度末を持って終了」に向けた取組状況確認（「廃蛍光管等の埋立終了に向けたアンケート調査」の実施と結果の共有等）
- 焼却灰のセメント原料化の促進・最終処分場の大幅な延命化のための仕組みづくりの検討
平成30年（2018）年度から開始される「23区清掃一組・基本計画の改定検討（H32年2月新計画策定予定）」との関係等を考慮し、必要に応じて情報交換等を実施

2 内容・スケジュール（案）

【継続検討事項】

- 一般廃棄物の廃プラ類の埋立終了時期の明確化に向けた検討
「2020年以前の出来るだけ早い時期に、一般廃棄物の廃プラ類の埋立てを終了とする方向」に向けて、引き続き、事業系廃棄物のリサイクル（3R）ルールづくりに係る課長級WG（個別WG）で検討

【検討終了事項】

- 廃蛍光管等の埋立ての終了について
⇒ 7月頃 特別区の取組状況に係るアンケート調査の実施
9月頃 結果の共有
- 焼却灰のセメント原料化の促進・最終処分場の大幅な延命化のための仕組みづくりの検討
⇒ 23区清掃一組・基本計画の改定検討との関係を考慮し、必要に応じて情報交換等を実施

今年度の取組状況

○廃蛍光管等の埋立ての終了について

- 7月 23区へ廃蛍光管等の埋立て終了に関するアンケート調査実施
- 9月 アンケート調査結果の共有